

お手入れ ブック

HOW OFTEN?
頻度が
わかる

ブラッシング・歯みがき・爪切り・耳・お風呂・体を拭く・
足裏の毛。

どのくらいの頻度で、どうやって、嫌がらせずに。

体を触る練習

ブラッシング

歯みがき

爪切り

耳

お風呂

体を拭く

足裏の毛



はじめに

お手入れは、上手さより**嫌がらないこと**が先です。一度「怖い」と覚えると、次からもっと難しくなります。このブックは、毎日のケアをどのくらいの**頻度で、どうやって慣らしながらやるか**を、1つずつまとめました。

数秒から

最初は1秒触れるだけで成功。嫌がる前に終えて、「もっとやってほしい」で終わらせる。

触る→
おやつ

触られた直後に、毎回おやつ。触られること自体が「良いことの予告」になる。

1つ戻る

嫌がったら、1つ前の段階へ。押さえつけて続けるのは逆効果。今日は1本だけ、でいい。

このサインが
出たら一段戻す

犬は、嫌なときに小さなサインを出します。見えたら、その日はそこで終えるか、簡単なことに戻ってほめて終えます。

固まる

離れる

舌なめずり

あくび

人間用は使わない

× 歯みがき粉

キシリトールなど、犬に有毒な成分が入っているものがある

× シャンプー・リンス

犬の皮膚には合わない。犬用を使う（AKC）

× ウェットティッシュ

アルコール・香料入りは使わない。ペット用を

このブックは一般的な家庭犬のお手入れの情報です。頻度は健康な犬の目安で、犬種・毛質・皮膚の状態で変わります。皮膚や耳の異常、けがのときは、動物病院に相談してください。

PART 1 お手入れカレンダー

どのケアを、どのくらいの頻度で。健康な犬の目安です。

体を触る練習

P.5

毎日

数秒ずつ。すべてのお手入れの土台

ブラッシング

P.6

1日おき

短毛の子も。長毛・巻き毛は毎日（AKC）

歯みがき

P.7

毎日

難しければ週に数回。歯垢は48時間でたまり始める（AKC）

爪切り

P.8

3～4週ごと

よく歩く子は少なめ。伸び方で決める（AKC）

耳

P.10

週1回

見える所を湿らせたコットンで拭く。奥には入れない（AKC）

お風呂

P.11

洗いすぎない

目安は月1回ほど。犬種と皮膚の状態が変わる

体を拭く

P.12

散歩のたび

お風呂の間の清潔は、拭くことで保つ

足裏の毛

P.13

伸びたら

まずはトリマー・動物病院に頼む

**毎日やるのは
3つだけ**

体を触る・歯みがき・散歩のあとに拭く。歯みがきは全体で30秒、ブラッシングは全身1分が目標。慣れるまでは、もっと短くてかまいません。

PART 2 用意する道具

いっぺんに揃えなくて大丈夫。始めるケアの分だけ、チェックしながら。

ブラッシング

- ☐ 毛質に合うブラシ（短毛＝ラバーブラシ／長毛・ダブルコート＝スリッカー＋コーム）

歯みがき

- ☐ 犬用歯みがきペースト（人間用はNG）
- ☐ 犬用歯ブラシ／指サック／ガーゼ（嫌がる子は指に巻いたガーゼから）

爪切り

- ☐ 犬用の爪切り（ニッパー型／ギロチン型）。怖がる子・黒爪の子は電動やすり（グラインダー）が削りすぎにくく安心
- ☐ 止血剤（クイックストップ）。なければ片栗粉でも代用可。万一血管を切った時用に必ず手元に
- ☐ なめ続けられるおやつ（リックマット／チューブのペースト）。床や壁に塗って、なめている間に切る
- ☐ 明るい照明（血管の位置を見るため）

耳

- ☐ （将来の耳掃除用に）犬用イヤークリーナー・コットン

お風呂

- ☐ 犬用シャンプー
- ☐ 滑り止めマット（浴槽・洗い場に敷く）
- ☐ 吸水タオル
- ☐ おやつ／リックマット（壁に貼れるタイプだと洗いながらなめさせられる）

体を拭く

- ☐ ぬるま湯で濡らしたタオルかペーパータオル（AKC）
- ☐ ペット用の、アルコールと香料の入っていないウェットシート
- ☐ 吸水のよいタオル（マイクロファイバーなど）
- ☐ 汚れがひどい日用に、犬用シャンプーを少量

足裏の毛

- ☐ 先の丸い小さなハサミ、または刃の幅が狭い小型のバリカン（AKC）
- ☐ なめ続けられるおやつ（リックマットなど）

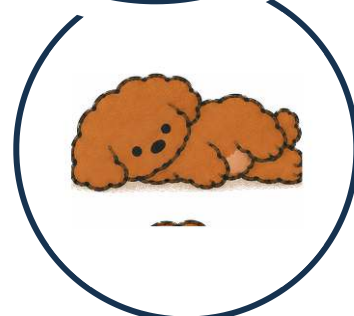
体を触る練習

通院・お手入れ・健康チェックの土台。全身を触られても平気にし、正しい抱っこ・仰向けで安心できるようにする。



● 正しい抱っこ

正しい抱っこ＝片手で胸（前足の後ろ）を支え、もう片方の腕でお尻・後ろ足を下から支える。体を自分に密着させ、ブラブラさせない。前足だけで持ち上げる・脇を掴んで吊るすのはNG（関節を痛め、抱っこ嫌いになる）。小型犬は両端を、大型犬は胸と後ろを支える。



横向き→少し傾ける→あお向け、の順で

全身

1. 肩・背中など触られて嫌でない場所から撫でる→おやつ。
2. 脇腹・胸・足先・しっぽの付け根へと、触る範囲を少しずつ広げる→その都度おやつ。
3. 正しい抱っこで“数秒だけ”持ち上げ→おろす→おやつ。暴れる前におろすのがコツ。
4. 膝の上であお向け（仰向け）に抱える練習。支えられて安心できると、お腹のブラッシングや上からの歯みがき・点眼がしやすくなる。

足先

1. 足の“甲”にそっと手を添える→おやつ。1秒触れても引っ込めなければ成功。
2. 各足を手で包んで2～3秒持つ→おやつ。前足だけでなく後ろ足も。
3. 肉球を指で軽く広げる→おやつ。指の間も少しずつ触れるように。

口

1. マズル（鼻先）の上にそっと手をのせる→おやつ。1秒触れても嫌がらなければ成功。
2. 上唇を片側だけ“ペロッ”とめくって歯を一瞬見せる→おやつ。最初は1秒でよい。
3. 反対側、犬歯・奥歯と、見せる範囲を少しずつ広げる→その都度おやつ。
4. 歯ぐきに指で軽く触れる→おやつ（歯みがきの土台）。

うまくいかないとき

仰向けを嫌がる・暴れる

仰向けは“押さえつけ”では逆効果（昔の主従理論は誤り）。膝の上で背中を支え、横向き→少し傾ける→短時間あお向け、と段階を踏む。リラックスできた瞬間におやつ。嫌がったら起こしてやり直す。

気をつけること

嫌がるサイン（固まる・離れる・舌なめずり・あくび）が出たら一段戻す。強制しない。

<https://www.akc.org/expert-advice/health/teaching-dog-enjoy-grooming/>

ブラッシング

毛玉・抜け毛・皮膚チェック。スキンシップにもなる日常ケア。背中だけでなくお腹・脇も含めて。

HOW OFTEN

1日おき

短毛の子も。長毛・巻き毛は毎日（AKC）

● 用意するもの

- ☐ 毛質に合う ブラシ（短毛＝ラバーブラシ／長毛・ダブルコート＝スリッカー＋コム）

● 体勢

背中・体側は立ち姿勢か伏せで。お腹・脇・内股は毛玉がしやすいので、膝の上であお向けに抱えて行くと届きやすく、犬も安心しやすい（体を触られることに慣れるの仰向けが土台）。

● 進め方

- 1 ブラシを見せて匂い→おやつ。
- 2 背中を毛の流れに沿って1ストロークだけ→おやつ。少しずつ回数を増やす。
- 3 脇・お腹・内股・しっぽへと範囲を広げる（嫌がりやすい場所は最後に、短く）。
- 4 全身を1分ブラッシングできるまで延ばす。



背中・体側は、立ち姿勢か伏せで



毛質でブラシを選ぶ

うまくいかないとき

ブラシを噛む・じゃれつく

もう片方のおやつを与えながらブラシを動かすと、口がふさがり噛めない。ブラシを目の前で振らない。噛んでも引っ張り合いにしない。

お腹・あお向けを嫌がる

まず体を触られることに慣れるで仰向けの安心を作ってから。短時間・1ストロークから。

プロに任せる・気をつけること

毛のもつれは無理に引かない。痛みを伴うとブラシ嫌いになる。毛玉は少しずつほぐすか、ひとければトリマーへ。

固い毛玉はハサミで切らない。皮膚まで切るおそれがあるので、トリマーに任せる（AKC）

<https://www.akc.org/expert-advice/health/how-to-groom-a-dog/>

歯みがき

歯周病予防。3歳までに多くの犬がかかるため早期の習慣化が重要。

HOW OFTEN

毎日

難しければ週に数回。歯垢は48時間でたまり始める（AKC）

用意するもの

- ☐ 犬用歯みがきペースト（人間用はNG）
- ☐ 犬用歯ブラシ／指サック／ガーゼ（嫌がる子は指に巻いたガーゼから）

姿勢

横から、または膝の上で。上唇をめくって外側の歯を磨くのが基本（口・歯を触らせるが土台）。

進め方

- 1 犬用歯みがきペーストを指／歯ブラシにつけ、舐めさせる（ペースト＝おいしい、にする）。
- 2 上唇をめくり、前歯を1～2本“こする”→おやつ。最初は数秒でよい。
- 3 犬歯・奥歯と、片側ずつ磨く範囲を広げる。歯と歯ぐきの境目を意識。
- 4 最終的に全体を30秒。歯の“外側”だけで十分（内側は舌が掃除する）。



歯ブラシを嫌がる子は、指に巻いたガーゼから

TIP

理想は毎日。難しければ歯みがきガムやデンタルおもちゃを補助に。ただしガムだけでは歯垢は落ちきらない。

うまくいかないとき

歯ブラシを噛む・嫌がる

歯ブラシの前に、指サックやガーゼを指に巻いて磨くと受け入れやすい。まずペーストを舐めさせるだけ→指で1本こする、と段階を踏む。

磨くと歯ぐきから血が出る

力の入れすぎか、すでに歯肉炎がある可能性。やさしく磨く。出血が続く・口臭が強い場合は受診。

プロに任せる・気をつけること

人間用歯みがき粉は中毒の恐れ。必ず犬用を使う。

人間用の歯みがき粉は使わない（キシリトールが犬に有毒なものがある）

<https://www.akc.org/expert-advice/health/dog-dental-care/>

爪切り

伸びすぎは歩行を痛め関節に負担。出血を防ぐため少しずつ慣らす。
多くの飼い主がいちばん不安なケア。

HOW OFTEN

3～4週ごと

よく歩く子は少なめ。伸び方で決める
(AKC)

用意するもの

- ☐ 犬用の爪切り（ニッパー型／ギロチン型）。怖がる子・黒爪の子は電動やすり（グラインダー）が削りすぎにくく安心
- ☐ 止血剤（クイックストップ）。なければ片栗粉でも代用可。万一血管を切った時用に必ず手元に
- ☐ なめ続けられるおやつ（リックマット／チューブのペースト）。床や壁に塗って、なめている間に切る
- ☐ 明るい照明（血管の位置を見るため）

進め方

- 1 まず足先を触らせるが土台。足を持っても引っ込めない状態にしておく。
- 2 爪切りを見せ、足先に“当てるだけ”→おやつ。道具に良い印象をつける。
- 3 爪に触れる・刃を当てずに“空打ちの音”を鳴らす→おやつ。音に慣らす。
- 4 リックマットをなめさせながら、肉球を軽く押して爪を出し、血管の手前を1本だけ切る→おやつ。
- 5 1回1～2本でよい。全部を一度に切ろうとしない。数日かけて一周する。



自分から足を出す（足を出す合図）

うまくいかないとき

足を引っ込める・嫌がる

握って固定しようとする余計に抵抗する。足を出す（協調ケア）で“自分から足を乗せる”を教える。リックマットで気をそらすのも有効。1本切れたら大成功、と割り切る。

爪切りの“パチン”という音を怖がる

音単体に慣らす。離れた所で空打ち→おやつを繰り返し、音＝良いことの予告に変える。それでも怖がるなら、音の出ない電動やすりに替える。

プロに任せる・気をつけること

血管を切ると出血・痛み。白い爪は透けて見える血管の手前で。黒爪は薄く何度かに分けて。狼爪（内側の地面に着かない爪）も伸びるので忘れずに。

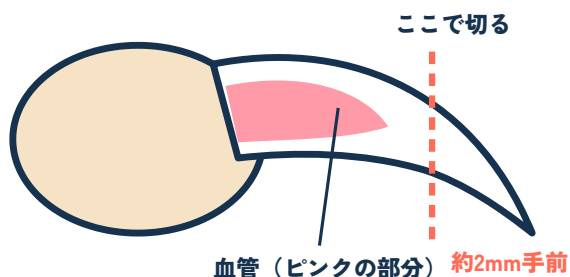
黒い爪で血管の位置が分からないとき、暴れて危ないときは、動物病院・トリマーへ

<https://www.akc.org/expert-advice/health/how-to-trim-dog-nails/>

爪は、どこまで切る？

爪の中には血管（クイック）が通っています。切るのはその手前まで。一度に深く切らず、薄く何回かに分けます。

白い爪：ピンクの手前で



黒い爪：切り口を見る



切るときの姿勢

小型犬は膝の上、または飼い主が床に座り犬を横たわらせて。1人で行うなら、犬の足を“後ろ向き”に軽く曲げて持つと、犬から刃が見えず・自然な角度で切れる。リックマットをなめさせながらだと、犬が下を向いて落ち着き、足も出しやすい。

どこまで切ってよいか分からない（血管＝クイック）

白い爪は中のピンク色が血管。その2mm手前で切る。黒い爪は中が見えないので、先端から“薄く”少しずつ削り、切り口の中心に黒い／灰色の点が見えたらそこが血管の手前＝ストップ。黒爪は電動やすりが安全。

血が出てしまった

慌てない。止血剤（なければ片栗粉）を切り口に押し当て、数十秒圧迫する。たいてい数分で止まる。痛い記憶を残さないよう、その日はそこで終了し、おやつで終わる。

切るのが怖いときは

切るのが怖ければ、まず“やすりで先端を丸める”だけでも伸びすぎは防げる。どうしても無理なら動物病院・トリマーで切ってもらいながら、家では触る練習だけ続ける。

<https://www.akc.org/expert-advice/health/how-to-trim-dog-nails/>

耳

耳掃除・外耳炎チェックの前提。垂れ耳・毛が多い犬種は蒸れやすく特に重要。

HOW OFTEN

週1回

見える所を湿らせたコットンで拭く。奥には入れない（AKC）

● 用意するもの

- ☐ （将来の耳掃除用に）犬用イヤークリーナー・コットン

● 進め方

- 1 耳の付け根を軽くマッサージするように触れる→おやつ。
- 2 耳たぶを持って“めくり”、中を1秒見る→おやつ。左右とも。
- 3 中をのぞく時間を少しずつ延ばす。赤み・汚れ・におい（外耳炎のサイン）もチェック。

TIP

垂れ耳種（ダックス・コッカー等）は通気が悪く外耳炎になりやすい。日頃から中を見る習慣を。

うまくいかないとき

耳を触ると頭を振る・逃げる

付け根の“外側”を撫でるところから。耳をめくるのは嫌がりやすいので、触れる→おやつを数日続けて慣らしてから。痛がる・赤い・においがある場合は外耳炎の可能性、触らず受診。

プロに任せる・気をつけること

耳の奥に綿棒や物を入れない。赤い・におう・しきりに搔くときは動物病院へ

<https://www.akc.org/expert-advice/health/teaching-dog-enjoy-grooming/>

お風呂

自宅でのシャンプー。いきなり濡らさず、浴室・音・水へ段階的に慣らす。

HOW OFTEN

洗いすぎない

目安は月1回ほど。犬種と皮膚の状態が変わる

● 用意するもの

- ☐ 犬用シャンプー
- ☐ 滑り止めマット（浴槽・洗い場に敷く）
- ☐ 吸水タオル
- ☐ おやつ／リックマット（壁に貼れるタイプだと洗いながらなめさせられる）

● 体勢

洗い場では滑り止めマットの上に立たせる。シャワーは“低い位置から・弱く”、体→脚と当て、顔は最後にスポンジやタオルで。

● 進め方

- 1 まずお風呂場に入っておやつ（浴室＝怖くない場所にする）。
- 2 乾いた状態で浴室に滞在できるようにする。
- 3 シャワーの音を弱く・離れた位置から聞かせる→おやつ（音馴致）。
- 4 足先をぬるま湯で濡らす→脚→体へ、と下から少しずつ水に慣らす。
- 5 犬用シャンプーを薄めて体から洗い、顔は最後にスポンジで。すすぎ残しがないようよく流す。
- 6 タオルでしっかり拭き、必要なら低温のドライヤーを離して当てる。終始穏やかな声で。



滑り止めマットの上に立たせる

うまくいかないとき

水・シャワーを怖がる

顔や背中にいきなりかけない。足先からぬるま湯で、桶やシャワーを“弱く・低い位置”から。リックマットをなめさせながらだと落ち着きやすい。怖がる日は無理せず、浴室でおやつだけで終わってよい。

浴室に入るのを嫌がる

濡らさず、乾いた浴室でおやつ・遊びから。浴室＝良い場所、を作ってから水に進む。

プロに任せる・気をつけること

湯温は人肌（約36～38℃）。耳に水が入らないように。滑り止めマットを敷く。

人間用のシャンプー・リンスは使わない（AKC）

<https://www.akc.org/expert-advice/health/its-bath-time-towels-brushes-dog-shampoo-and-more/>

体を拭く

散歩で足先や体についた泥・砂・花粉などを落とします。指の間に残った汚れを、犬がなめて口に入れるのも防げます（AKC）。

HOW OFTEN
散歩のたび
お風呂の間の清潔は、拭くことで保つ

● 用意するもの

- ☐ めるま湯で濡らしたタオルかペーパータオル（AKC）
- ☐ ペット用の、アルコールと香料の入っていないウェットシート
- ☐ 吸水のよいタオル（マイクロファイバーなど）
- ☐ 汚れがひどい日用に、犬用シャンプーを少量

● 進め方

- 1 玄関にタオルを置いておき、帰ったらおすわり。足を1本ずつ持つ（「足先を触る」練習ができてしていると楽）。
- 2 肉球の間と爪のまわりを、指を1本ずつ広げながら拭く（AKC）。
- 3 泥がひどい日は、めるま湯を張ったトレーで足先だけ洗い、シャンプーを使ったらよく流す。
- 4 最後に乾いたタオルで、肉球の間までしっかり乾かす。濡れたままだと床で滑りやすい（AKC）。
- 5 体は濡らしたタオルで毛の流れに沿って拭く。そのとき、傷・乾燥・タニがないかも見る（AKC）。



帰ったら、おすわりしてから拭く

うまくいかないとき

足を持つと引っ込める

拭く前に「足先に触る→おやつ」を1日数回。拭くのは1本だけで終える日があってもよい。

冬、道の融雪剤（塩）がつく

帰ったらすぐ拭いて落とす。肉球のひび割れには、犬用の保護クリーム（バーム）が使える（AKC）。

気をつけること

人間用のウェットティッシュ（アルコール・香料入り）は使わない。肉球の切り傷・ひび割れが深いときは、なめさせずに動物病院へ。

<https://www.akc.org/expert-advice/health/clean-dog-paws/>

足裏の毛

指の間の毛が伸びると、毛玉になったり、床で滑ったり、冬は雪玉がついたりします（AKC）。

HOW OFTEN
伸びたら
まずはトリマー・動物病院に頼む

● 用意するもの

- ☐ 先の丸い小さなハサミ、または刃の幅が狭い小型のバリカン（AKC）
- ☐ どちらも、使い方をトリマー・ブリーダー・動物病院で教わってから使う（AKC）
- ☐ なめ続けられるおやつ（リックマットなど）

● 進め方

- 1 先に、足裏を触られること・バリカンの音に慣らす。音を聞かせる→おやつ、を離れた所から。
- 2 切るのは、肉球からはみ出た毛だけ。長さは肉球と同じ高さか、わずかに短く（AKC）。
- 3 肉球と肉球の間の奥に、刃先を入れない。皮膚は思ったより近い。
- 4 1回で4本の足を全部やろうとしない。1本で終えてもよい。



足裏を触られることに、先に慣らす

うまくいかないとき

怖くて切れない・犬が動く

無理に押さえない。トリミングサロンや動物病院なら、短い時間で安く頼めることが多い（AKC）。家では触る練習だけ続ける。

毛玉が足裏にできた

ハサミで根元から切らない。皮膚を切りやすい。トリマーに任せる（AKC）。

気をつけること

AKCの主任獣医師は、指の間の毛を、教わらずに家で切らないよう勧めています。最初は必ずプロに頼むか、やり方を教わってから。

<https://www.akc.org/expert-advice/health/dog-grooming-at-home/>

PART 3 プロに任せる目安

家でできないことは、プロに頼んでかまいません。頼みながら、家では「触る練習」だけ続けると、だんだん家でもできるようになります。

ブラッシング 固い毛玉はハサミで切らない。皮膚まで切るおそれがあるので、トリマーに任せる（AKC）

歯みがき 人間用の歯みがき粉は使わない（キシリトールが犬に有毒なものがある）

爪切り 黒い爪で血管の位置が分からないとき、暴れて危険ときは、動物病院・トリマーへ

耳 耳の奥に綿棒や物を入れない。赤い・におう・しきりに掻くときは動物病院へ

お風呂 人間用のシャンプー・リンスは使わない（AKC）

足裏の毛 教わらずに家で切らない。最初はトリマーか動物病院に頼むか、やり方を教わってから（AKC）

動物病院に相談するサイン

- 耳** 赤い・におう・痛がる・しきりに頭を振る、掻く（外耳炎の可能性）
- 歯** 磨くと出血が続く・口臭が強い
- 足先** 肉球の深い切り傷・ひび割れ、なめ続ける
- 爪** 血管を切って、圧迫しても血が止まらない
- 皮膚** 拭いたりブラッシングしたりしたときに、赤み・しこり・ダニを見つけた

PART 4 お手入れ記録

○ やった ◎ 嫌がらずにできた コピーして、週ごとに使えます

WEEK 1	月	火	水	木	金	土	日
体を触る							
ブラッシング							
歯みがき							
散歩後に拭く							
耳を見る							

WEEK 2	月	火	水	木	金	土	日
体を触る							
ブラッシング							
歯みがき							
散歩後に拭く							
耳を見る							

やった日	1回目	2回目	3回目	4回目
爪切り	/	/	/	/
お風呂	/	/	/	/
足裏の毛・トリミング	/	/	/	/

PART 5 困ったときは

嫌がる・暴れるときに開くページです。どれも無料で読めます。

爪切りを嫌がる・暴れる

baudog.world/trouble/nail-trim-fix

歯みがきを嫌がる

baudog.world/trouble/hates-toothbrush

ブラッシングを嫌がる・噛む

baudog.world/trouble/brushing-fix

涙やけ

baudog.world/health/tear-stains

予防の年間スケジュール

baudog.world/health/dog-health-prevention

ケア辞典（慣らし方のレベル）

baudog.world/care

このブックについて

BAUDOG は、犬と飼い主が通じ合う毎日のための手引きです。お手入れも、押さえつけずに、できた瞬間をほめて慣らす方法で書いています。頻度とやり方は、AKC（アメリカンケネルクラブ）の公開記事を確認してまとめました。

自由に印刷・共有していただいてもかまいません（内容の改変と販売はご遠慮ください）。

出典

<https://www.akc.org/expert-advice/health/teaching-dog-enjoy-grooming/>

<https://www.akc.org/expert-advice/health/how-to-groom-a-dog/>

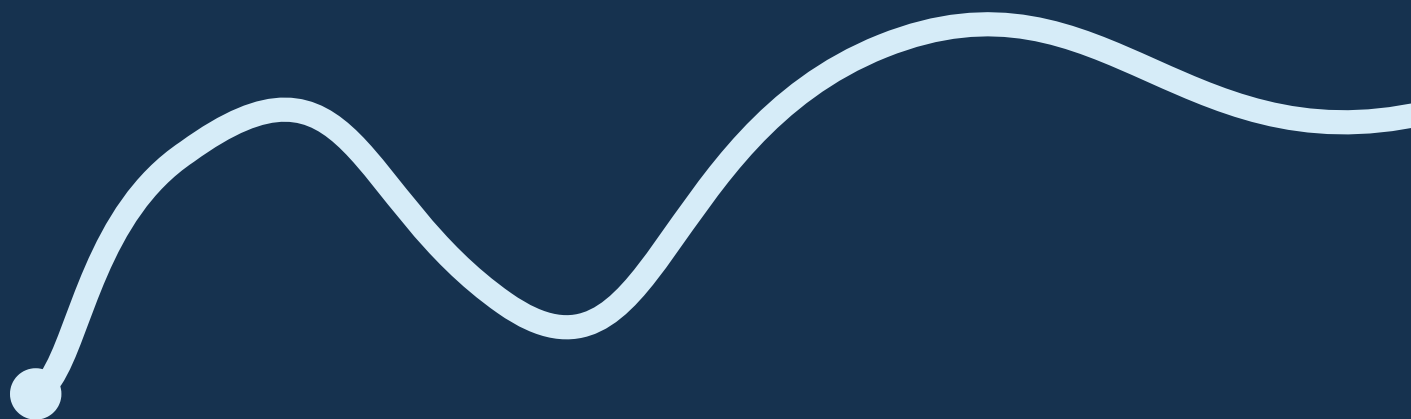
<https://www.akc.org/expert-advice/health/dog-dental-care/>

<https://www.akc.org/expert-advice/health/how-to-trim-dog-nails/>

<https://www.akc.org/expert-advice/health/its-bath-time-towels-brushes-dog-shampoo-and-more/>

<https://www.akc.org/expert-advice/health/clean-dog-paws/>

<https://www.akc.org/expert-advice/health/dog-grooming-at-home/>



続きは サイトで。

ケアの慣らし方のレベル、嫌がるときの直し方、健康を守る予防のスケジュールを、無料で読めます。

baudog.world